



NPO PTPL “ともいき” 便り No.42

■冬至（とうじ） 12月22日から1月4日までの節気
(2013年12月22日発行)

冬至です。昼がいちばん短く、夜がいちばん長い日。一年の内で、夏至と共に2つの「極み」と言えるでしょう。この節気のなかに、大晦日も新年三ヶ日も含まれています。なにか、ものを思わせる日ですね。ベランダのブルーベリーの葉が、深紅になって細い枝にしがみついています。

「極^{きわ}まれば兆^{きざ}す」とも言われ、陽は冬至から少しずつ伸びていきます。お互い風邪を引かないように気を付けましょう。ああ、柚子湯は至福、ですね。

12月5日、ネルソン・マンデラさんが死去（95歳）。12月10日の追悼式には、オバマ米国大統領はじめ諸外国の要人が大勢集まりました。日本からは皇太子さまが参加。（政治家は？）

約10万人がその死を悼んで集ったといわれます。マンデラさんを指針としたアフリカ出身のオバマ氏は、格別な思いがあったはず。「私」という個人の主語でスピーチしたのが特色だったと伝えられています。このような追悼式はかつてなかったことでしょう。

12月10日と言えば、まさに「世界人権宣言」が国連で採択された日（1948年）。人種差別撤廃に取り組んだマンデラさんの追悼にふさわしい日でした。対立してきた米国とキューバ、その両国大統領がマンデラさんの前で握手を交わしたことも大きく報道されました。偉大な人の死は奇跡を起こし、残った人間に教えを残す好例といえるでしょう。

それにしても、なぜ白人は有色人種を差別し迫害してきたのか。南アフリカ共和国では、白人が長い間にわたって有色人種への極端な差別・隔離・迫害を行っていました。マンデラさんの牢獄生活は27年間。白人の非人道的支配に対しマンデラさんは「融和」の思想で民衆を導き、ついに1991年に差別制度を廃止させたというのです。

共和国の共和は、「共に和す」のはずなのに、支配者（オランダやイギリス）は、有

色先住民を差別し弾圧迫害し、ダイヤモンドなど地下資源を収奪していました。共和国とは、「複数の者が共同し和合して事に当たること（広辞苑）」を標榜する国のことなのに・・・。

マンデラさんを称讃するより前に、まず白人の罪が告発されるべきではなかったでしょうか。深い謝罪は行われたのでしょうか。植民地支配の歴史を思います。

しかしマンデラさんは長い牢獄生活で目覚めた「融和」を掲げ、差別のない「虹の国」を創ろうと民衆を指導したという。許しと融和。人間社会の理想と、それへの方向性、そして希望とを示した人だと思います。インド独立の指導者ガンジーさんの「無抵抗主義」も連想させます。

「融和」と「ともいき」

マンデラさんの、「抑圧する側も解放されなければならない」という徹底した対話と融和の呼びかけ。肌の色の違いを超えて、共に平和と幸せな社会をとという和と愛の思想。

それは「共に生きる」という価値観だと思います。私たち NPO PTPL が訴求し続けている「ともいき」の哲学、価値観でしょう。日本では「ともいき」、南アでは「融和」。もしマンデラさんの偉業に世界が感銘を受け共感するならば、日本人の「ともいき」価値観は、勝田理事長がいうように、「21 世紀に普遍性のある基本の生活哲学」となっていくはずだと思います。日本は暗い世相になっていきそうですが、「ともいき」の価値観を掲げて前に進みたいと思います。

今年一年のご愛読ありがとうございました。

皆様、よい新年をお迎えください。

文：朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

● いま、世界が探し求めている普遍的なもの。

それはジャパネスク。

祖先が、先達が「共に生きる」（“ともいき” という価値観・生活観）と「共に生み出す」（“ともうみ” という想像力・創造性）という知恵と体験を積み上げ、継承し、発展してきた日本人の暮らしのありようや学問のありよう、つまり好奇心、知らないことを知りたいという知識欲、新しい独自のものを創り上

げる創造力などを、今に生きるわれわれが再評価し、力強く取り戻し、磨き上げ、より洗練し、日本人の精神的基盤として、しっかりと自覚し、誇りを持つことが重要です。

“ともいき”と“ともうみ”という「目に見えないジャパネスク」とそれが創り上げる新しい独自のモノ・コト・文化、つまり「目に見えるジャパネスク」を外国人にも訴求し、啓蒙し、理解してもらえるように努力したいものです。

近い将来、「目に見えないジャパネスク」が明日の世界を創るために、いま、世界が探し求めている普遍的なもの、そして、世界の文化交流のための共通言語になりうる可能性を持っているのではないのでしょうか。

「目に見えないジャパネスク」が世界共通の普遍的な生活哲学になる日を夢見て。

- 山川草木悉皆成仏。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●今年最後の「ともいき便り」となりました。今年は異常気象（酷暑・台風・洪水・突風など）に見舞われ、自然の厳しさを感じる一年でした。さて、今季の冬は厳しい寒さになるのでしょうか。皆様、風邪などめさぬようくれぐれもお身体ご自愛ください。

●年末年始のお休みについて

12月28日（土）から1月5日（日）の間、お休みです。

●事務所移転のお知らせ

NPO PTPL は 2013 年 12 月 16 日より、下記の場所に事務所を移転し、活動をスタートしましたので、お知らせいたします。

住所、電話登録のご変更のほど、よろしく願いいたします。

お近くにお越しの際は、ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。

〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル 7階

電話：03-6205-7503

FAX：03-6205-7504

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都 港区 虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル 7階

電話：03-6205-7503

FAX：03-6205-7504

Email：info@plantatree.gr.jp